

ポスト2020を見据えた中野区の実現について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」という。）の開催により生み出される多くの成果を、ポジティブな影響として継承、さらに発展させ、魅力と活力あふれる中野のまちの実現をめざす。このため、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組方針」を踏まえつつ、大会終了後を見据えた取組を以下により進める。

1 目的

- 本取組は、大会開催による成果を創出するための取組と、創出された成果を発展させるための取組を効果的に進めるために定める。
- 「ポスト2020」（＝大会終了後）を見据え、大会開催を、区の長期的な施策展開や地域社会のさらなる発展につなげることをめざす。

2 創出する成果 ～2020年の中野～

大会に向けた区の実現や大会の開催により、2020年の中野のまちに生み出される影響・効果として、以下の4つの領域での成果の創出とその発展をめざす。

- (1) 大会にみんなで参加し、地域での支えあいが広がるまち
 - 成果 ボランティア活動の活発化
 - 成果 区内団体などの活動の活発化
- (2) スポーツ・健康づくりで活力のあふれるまち
 - 成果 スポーツに関心を持つ人の増加（する・観る）
 - 成果 スポーツ・健康づくりの環境整備
- (3) 多様性を尊重するまち
 - 成果 外国人や障害者との交流機会の増加
 - 成果 国民の誇り、文化・伝統の再発見
- (4) 多彩な魅力で選ばれるまち
 - 成果 国内外からの来街者の増加
 - 成果 グローバルな活動の環境整備

3 取組の基本的な考え方

- 様々な主体による大会への直接的・間接的な参加を促進し、地域活動や公益活動の活性化に繋げる。
- 大会の開催を、単なる一過性のスポーツイベントに留まらせるのではなく、区民の長期的なスポーツ活動・健康づくりの推進に繋げる。
- 区民の国際理解や障害者理解の促進を図り、多様性を尊重した誰もが暮らしやすいまちづくりを進める。
- 国内外の来街者の誘致等による地域経済の活性化を図り、持続的なまちづくりのための契機とする。

4 取組内容

4つの領域ごとに、①大会開催に向けた取組、②この取組などにより2020年の中野のまちに生み出される成果、③創出された成果の発展の方向性やポスト2020の取組例を示す。具体的な内容は、別紙のとおり。

【参考】(別添資料)

「ポスト2020を見据えた中野区の取組」の概要